



平成21年度 大手前大学公開講座 「時空をこえて ～変貌する社会と文化～」

世の中すべて変化しないものはありません。時の流れはすなわち変化の歴史であるともいえます。社会や文化が変わりゆく中、脈々と伝えられてきた伝統文化もあり、また新旧が融合し新しいものが生まれることもあります。

本年度は、時代や地域にとらわれず、いろいろな観点から「変わりゆくもの」に焦点を当て、社会と文化を考えてみたいと思います。「時空をこえて～変貌する社会と文化～」をテーマに8つの講座を開くことになりました。皆様、奮ってご参加ください。

◆4/18 古墳の出現と社会の変化

総合文化学部 森下 章司 准教授

考古学においては、巨大な墳丘をもった王墓の出現と衰退、そこから出土した様々の品物は、当時の社会を研究する上で重要な資料となっている。古代の日本では、3世紀に巨大な前方後円墳が出現し、銅鏡をはじめとする多数の副葬品が納められるようになった。中国や朝鮮半島など世界各地の王墓と比較しながら、日本における古墳の出現と展開、その背後にある社会の変化について語る。

◆9/19 インド社会の変ぼうと世捨て人の戦略

メディア・芸術学部 村瀬 智 教授

インドの社会をもっとも顕著に特徴づけているのはカーストである。ところが、世俗のヒンドゥー教徒の生活と密接にかかわりながら、「世捨て人」が、インドの社会的景観の不可欠の部分として、何千年も存在しつづけているという事実は、意外とみすごされてきた。現在のインドは、1991年の経済改革が功を奏し、急速な経済成長を実現している。このインドの劇的な変ぼうに対して、世捨て人がどのように対応しているかを、ベンガルの宗教的芸能集団を例に考える。

◆5/16 考古学から見た日本の中世から近世への社会変貌

総合文化学部 川口 宏海 教授

日本の中世から近世への変革は、文献史学では政治体制の変化をもとにして安土・桃山時代を画期として語られてきた。近年目覚ましく研究が進んだ歴史時代の考古学からみると、それはどのように評価できるのであろうか。遺構・遺物は、当時の都市や村落の姿を浮き彫りにし、生活を復元する。都市生活の充実、喫茶の広がりや喫煙の風習など、そこにも、実は文献史学では見えない、大きな変貌が認められるのである。

◆10/17 パネルディスカッション：在住外国人が見た日本

現代社会学部 シャーリー・アンドウ 講師

アメリカ、カナダ、オーストラリア出身の、本学でLEO英語講座を担当している4人の教員が、日本という国についての思いを語ります。外国人にとって日本人のコミュニケーションや人間関係のあり方はどのように映っているのか、また日本文化をどのように見ているのか、自由に話し合う場にしたいと考えています。ことに、外国人にとって住みよい社会を作っていくための様々なヒントを提言できれば幸いです。
(日本語通訳がつきます。) パネリスト(予定)：ロバート・シェリダン、スゼット・バートン、ジョン・ジャクソン

◆6/20 コレラと情報—19世紀の国際社会—

総合文化学部 尾崎 耕司 准教授

新型インフルエンザ流行の危機にみられるように、今日にあっても感染症の脅威はこれを拭い去ることができません。それは、グローバル化した社会に暮らす我々の宿命とも言えましょう。今から100年以上前、日本が近代にさしかかろうとした時代も、コレラに代表される感染症が猛威を振るい、国際社会はその対応に迫られました。本講義では、当時の感染症流行に対峙する世界と、そして日本の動きを、情報をキーワードに読み解きます。

◆11/21 韓国の学生運動と民主化への歩み

総合文化学部 チャン・キグオン 教授

1960年代初頭、韓国では軍事政権が登場し、近代化と産業化をスローガンに掲げ、経済成長を最優先とする政策をとり続けた。その結果、目覚ましい経済成長を成し遂げたが、政治・社会的には歪みも少なくなかった。この時代に、非民主的な政治・社会構造を打破するため奮起していたのが、大学生を中心とした若者であった。二、三十年に及ぶ韓国の民主化運動、とりわけ学生運動の歴史をたどりながら、やがて劇的に民主主義が訪れる瞬間を、皆様とともに再び振り返りたいと思います。

◆7/18 富士山の文化史

総合文化学部 上垣外 憲一 教授

富士山が歴史の記録に表れるのは、奈良時代、『万葉集』や『日本霊異記』の時期からである。つまり歴史上の記録では富士山は千二百歳を越えることになる。文学や歴史記録に現れる富士山の姿は、時代によって千変万化する。仏教の盛んな時代には、仏教的宇宙論に現れる「須弥山」に例えられ、明治以降は日本ナショナリズムの象徴となった。また、室町時代にはかなりの登山者があったという大衆登山の先蹤という点でも富士山は興味深い例をなしている。その富士山の各時代の姿の変遷を、文学と歴史から浮き彫りにする。

◆12/19 インターネットで広がる学びの世界

現代社会学部 畑 耕治郎 准教授

大人になっても趣味や習い事を通して自分を磨きたいという社会人が増えているようである。このような背景を受け、インターネットやマルチメディアを活用した“大人の学び”がブームとなっている。一方で時間や場所の制約を受け“学びたくても学べない”、あるいはスクールに通っても“続かない”といった経験をした方は多いのではないだろうか。本講座では、インターネットに広がる新しい学びの世界をデモンストレーションを交えながら紹介する。